

お知らせ

2026年4月21日
JCOM 株式会社
株式会社 JPIXJ:COMとJPIXが戦略的パートナーシップを締結
法人向けにJ:COMのトランジット回線提供開始

JCOM 株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)と株式会社 JPIX(JPIX、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鶴 昭博)は、戦略的パートナーシップを結び、2026年4月より法人のお客さま向けにJ:COMのトランジット回線の提供を開始します。

■背景

近年、動画配信・クラウドサービス・生成AIなどの普及に伴い、インターネットトラフィック(インターネット上を行き来するデータ)は継続的に増加しています。こうした環境下で、企業がさまざまなデジタルサービスを提供するにあたり、安定かつ効率的なトラフィック交換の仕組みを整備することが重要となっています。

J:COMでは、動画配信やインターネット通信など自社サービスで発生する大量のトラフィック(データ通信)を、JPIXが提供するIX(Internet eXchange)^{※1}サービスを通じて交換しています。IXを介して事業者と直接トラフィックをやり取りすることで通信の混雑を避け、より高品質で遅延の少ない安定した通信を実現しています。

■パートナーシップによる実施内容

①J:COMのトランジット回線を提供開始

今回の戦略的パートナーシップにより、法人のお客さまへ向けにJPIXのIXサービスで提供される付加サービスの拡充を共同で進めます。まずは2026年4月から、JPIXのIXサービス上でJ:COMが保有する通信基盤(バックボーン)を活用したトランジット回線^{※2}の提供を開始します。

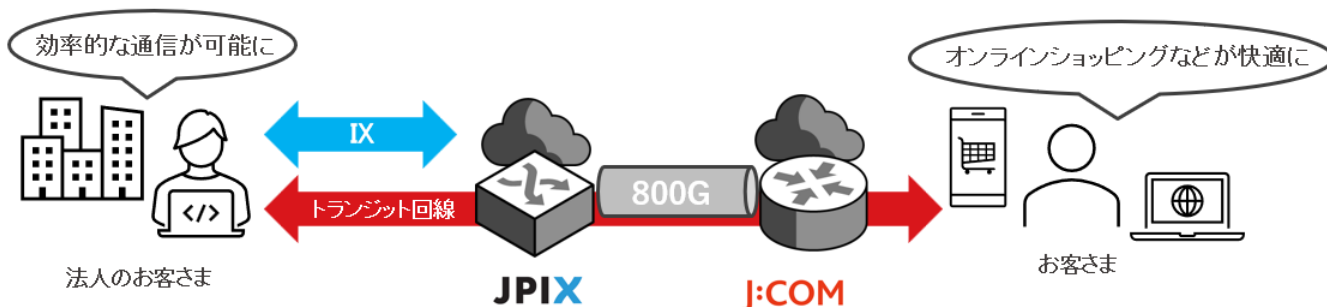
これにより、JPIXのIXサービスを利用する法人のお客さまは、従来のIX接続に加え、J:COMのトランジット回線も利用できるようになります。トランジット用の専用線を調達することなく、安定性・低遅延に優れたインターネット接続の利用が可能となります。

②J:COMとJPIX間のIX相互接続ポイントを800Gbpsに増強

今後のトラフィック増加を見据え、J:COMとJPIX首都圏、JPIX大阪のIX相互接続ポイントを両拠点800Gbpsに増強しました。これにより、データ通信量が増加した場合でも、より安定した通信環境の提供が可能となります。

これらの取り組みを通じて、法人のお客さまに効率的で混雑しにくい通信環境を提供するとともに、J:COMのインターネットサービスをご利用のお客さまに対しても、動画視聴やオンラインショッピングをより快適にご利用いただける環境を実現します。

<トランジット回線のご提供イメージ図>



IXサービスにトランジット回線サービスを追加してご提供

J:COMとJPIXは、これからも継続的なネットワーク強化を通じて、より高品質な通信環境を提供してまいります。

※1 IX(Internet eXchange): 複数の事業者がインターネット通信を直接つなぎ合う中継拠点

※2 トランジット回線: インターネットサービスプロバイダー(ISP)やデータセンター事業者などが、自社ネットワークをインターネットのグローバルネットワークへ接続するために提供されるネットワーク事業者向けの回線

<会社概要>

■JCOM 株式会社について<www.jcom.co.jp/>

JCOM 株式会社(ブランド名 J:COM、本社: 東京都千代田区)は、1995 年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアのグループ内ケーブルテレビ各社を通じて約 580 万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電気、ホーム IoT 等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約 2,258 万世帯です。番組供給事業においては、14 の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は 2026 年 3 月末現在の数字です

J:COM のサステナビリティ

J:COM では、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4 つのマテリアリティと、さらに具体化した 12 のサブマテリアリティを 2023 年度に再設定しました。

<本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「心地よく心を動かすサービスの提供と企業価値の向上」 サブマテリアリティ:「暮らしのデジタルイノベーション」



デジタル技術を活用したイノベーションへの取り組みを行うとともに、サービスをより快適に使っていただくための CX 向上に努め、すべての人が心地よい暮らしを実現できるサービスを提供します。

■株式会社 JPIX について

JPIX は日本初の商用 IX として 1997 年 11 月に IX サービスを開始し、ISP 事業者、CATV 事業者、さらにコンテンツ事業者と国内外含む最大級の顧客数を持ち中立的な運営を行う IX プロバイダーであり、日本のインターネットの心臓部として重要な役割を担ってきました。

また VNE(Virtual Network Enabler)事業者としても多くのお客様にご採用頂き、日々増加するトラフィックに対して安定的なネットワークサービスをご提供しています。